

令和元年度事業報告書

本部事務局

月 日	事 業 名(場所)	事 業 内 容
平成 31.4.25	理事会 (藤美寮会議室)	<p>○議 案 議第10号 社会福祉法人たかしま会第三者委員の選任について</p> <p>□報告事項 1. 法人設立50周年記念事業部会報告について 2. (仮称)高齢知的障害者デイサービス事業について</p>
	*議第10号	<p>令和元年5月31日付けをもって、第三者委員の任期が満了となることから、次期第三者委員として、下記の者を選任することの同意を得た。</p> <p style="text-align: center;">① 保木 隆 ② 森脇 博 ③ 北條 里美</p>
令和 元.5.24	理事協議会 (藤美寮会議室)	<p>協議事項:(仮称)高齢知的障害者デイサービス事業について</p> <p>平成31年4月25日の理事会において概要報告した、(仮称)高齢知的障害者デイサービス事業について、改めて、事業計画策定の背景、財源等(社会福祉充実計画との関係を含む)を理事、監事に説明し、事業実施の方向で、今後さらに詳細な説明の場を設けることとなった。</p>
令和 元.6.5	理事会 (藤美寮会議室)	<p>◇報 告 報告第2号 職務執行状況の報告について</p> <p>○議 案 議第11号 平成30年度社会福祉法人たかしま会事業報告及び収支決算の承認について 議第12号 社会福祉法人たかしま会理事及び監事候補者の選任について 議第13号 令和元年度社会福祉法人たかしま会定時評議員会の招集について</p>
	*報告第2号	<p>定款第17条第3項の規定により、「理事長は、毎会計年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない」ことから、法人本部及び各拠点区分の平成30年度の執行状況について報告をおこなった。</p>
	*議第11号	<p>平成30年度の事業報告及び収支決算を上程し可決承認された。</p>
	*議第12号	<p>令和元年6月開催予定の定時評議員会の終結の時をもって、現在の理事8名、監事2名の任期が満了することから、次期理事、監事候補者として、下記の者を定時評議員会に提案することの同意を得た。</p> <p>*理事候補者 橋本良男、小林忠伸、北川伊久男、島本忠男、谷本修一 高島さち子、青谷寿恵廣、杉原清美</p> <p>*監事候補者 前川保雄、内村泰雄</p>
	*議第13号	<p>令和元年6月20日に、令和元年度社会福祉法人たかしま会定時評議員会を招集することを上程し可決承認された。なお、報告事項および議事は、上記、議第11号、議第12号の案件である。</p>

令和 元.6.20	定時評議員会 (藤美寮会議室)	◇報告 報告第1号 平成30年度社会福祉法人たかしま会事業報告について ○議案 議第1号 平成30年度社会福祉法人たかしま会収支決算の承認について 議第2号 社会福祉法人たかしま会理事及び監事の選任について
	*報告第1号	平成30年度事業報告をおこなった。
	*議第1号	平成30年度の収支決算を上程し可決承認された。
	*議第2号	令和元年6月開催の定時評議員会の終結の時をもって、現在の理事8名、監事2名の任期が満了することから、次期理事、監事として下記の者を定時評議員会に提案し選任された。 *理事 橋本良男、小林忠伸、北川伊久男、島本忠男、谷本修一 高島さち子、青谷寿恵廣、杉原清美 *監事 前川保雄、内村泰雄
令和 元.6.20	理事会 (藤美寮会議室)	○議案 議第14号 社会福祉法人たかしま会理事長の選定について
	議第14号	令和元年6月20日開催の定時評議員会において、令和3年6月開催の定時評議員会の終結の時までの2年間を任期として、理事、監事が新たに選任されたことから、「理事長の選定について」上程し、指名により、橋本良男理事を理事長に選定した。
令和 元.8.2	役員研修会:新執行体制のスタートにあたり、法人が運営する各施設を視察し、加えて、法人をとりまく諸問題に際する知識を習得するため役員研修会を開催した。 「働き方改革の動向について」～同一労働同一賃金～ 講師:西多正夫社会保険労務士	
令和 元.8.19	理事会 (藤美寮会議室)	○議案 議第15号 令和元年度社会福祉法人たかしま会収支補正予算第1号(案)について
	*議第15号	陽だまり拠点区分において、利用者の介護度の変更により収入勘定科目を変更すること、藤美寮拠点区分において、利用者からの寄付金収入を新たに計上すること、除菌消毒器及び自走草刈り機の勘定科目変更すること、藤の樹工房拠点区分において、トラクター修理費を新たに計上すること等の内容で補正予算を上程し可決承認された。
令和 元.8.19	理事協議会 (藤美寮会議室)	協議事項:今後の法人のあり方について
	令和元年6月20日の評議員会及び同日開催の理事会において、新たな執行体制となったことから、「今後の法人のあり方について」、以下のテーマで役員各位の意見交換をおこなった。(7月29日 法人経営会議実施 理事長・理事代表・施設長理事2名・事務局長) ① 法人本部関連の事業運営について ② 藤波園関連の事業運営について ③ 藤美寮関連の事業運営について ④ 藤の樹工房関連の事業運営について	

令和 元.9.10	理事会 (藤美寮会議室)	○議案 議第16号 令和元年度社会福祉法人たかしま会収支補正予算第2号(案)について
	*議第16号	本部拠点区分において、ホームページバージョンアップに伴う科目変更を行うこと、藤波園拠点区分、陽だまり拠点区分、藤美寮拠点区分において、総合保険長期契約の見直しに伴う長期前払い費用支出の増額をすること等の内容で補正予算を上程し可決承認された。
令和 元.11.29	理事会 (藤美寮会議室)	◇報告 報告第3号 職務執行状況の報告について ○議案 議第17号 (仮称)高齢障がい者デイサービスセンター事業計画(案)について 議第18号 令和元年度社会福祉法人たかしま会収支補正予算第3号(案)について □報告事項 1 第三者委員会議の結果報告について 2 法人設立50周年記念事業経過報告について 3 経営計画策定に係るスケジュールについて
	*報告第3号	定款第17条第3項の規定により、「理事長は、毎会計年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない」ことから、法人本部及び各拠点区分の令和元年度上半期の執行状況について報告をおこなった。
	*議第17号	(仮称)高齢障がい者デイサービスセンター事業について、令和元年5月24日の理事会で説明した事業規模が変更になったことから、概算事業費、事務的スケジュール並びに社会福祉充実計画との関係について取りまとめ、民間心身障害児者施設整備事業(国庫補助事業)として採択が得られるよう、滋賀県に要望する旨の内容を上程し可決承認された。
	*議第18号	本部拠点区分において、50周年記念事業に係る記念品の購入に伴う科目変更を行うこと、藤波園拠点区分において、非常用発電機の購入について、県補助金の採択が得られたことから、藤美寮拠点区分において、グループホームにおける、落雷により損傷した自動火災通報装置に係る保険金収入があったこと、また、相談支援事業所職員の人件費を増額すること等の内容で補正予算を上程し承認された。
令和 元.12.27	理事会 (ウエストレイクホテル可 以登楼)	◇報告 報告第4号 専決処分の承認を求めることについて 議第19号 令和元年度社会福祉法人たかしま会収支補正予算第4号(案)について □報告事項 1. 「同一労働同一賃金」について
	*報告第4号	藤美寮における、(仮称)高齢障がい者デイサービスセンター新築工事に伴う実施設計業務の委託契約の締結に係る専決処分の報告し承認を得た。
	*議第19号	本部拠点区分において、経営計画策定支援事業委託料を計上したこと、藤波園拠点区分、藤美寮拠点区分、藤の樹工房拠点区分において本部拠点区分で実施する経営計画策定支援事業委託料に係る繰入金を計上したこと等の内容で補正予算を上程し承認された。

平成 元. 1.24	理事協議会 (藤美寮会議室)	協議事項：令和2年度予算要求の主要事業について ：「同一労働同一賃金等」について ：研修会 経営計画について 株式会社TASK経営 代表取締役社長 大石 孝太郎
令和2年度予算要求の主要事業について、本部拠点区分・藤美寮拠点区分・藤波園拠点区分・陽だまり拠点区分・藤の樹工房拠点区分ごとの原案を報告し、理事・監事と意見交換をおこなった。		
令和 2.2.26	理事会 (藤美寮会議室)	○議案 議第1号 社会福祉法人たかしま会就業規則の一部を改正する規則(案)について 議第2号 社会福祉法人たかしま会職員給与等支給規則の一部を改正する規則(案)について 議第3号 社会福祉法人たかしま会短時間勤務等労働者就業規則の一部を改正する規則(案)について 議第4号 社会福祉法人たかしま会職員の継続雇用に関する規程の一部を改正する規程(案)について 議第5号 社会福祉法人たかしま会表彰規程の一部を改正する規程(案)について 議第6号 社会福祉法人たかしま会旅費規程の一部を改正する規程(案)について 議第7号 令和元年度社会福祉法人たかしま会収支補正予算第5号(案)について □報告事項 1 第三者委員会議の結果報告について 2 地域貢献事業について 3 新型コロナウイルス対策について
* 議第1号から議第5号 令和2年4月1日から施行される、労働契約法、パート有期労働法にかかる「同一労働、同一賃金」に関する事項、並びに、令和元年度10月1日から施行された、福祉・介護職員等処遇改善加算に関する事項等に関連して所用の改正を行う内容で上程し、5議案ともに可決承認された。		
* 議第6号 旅費の種類の中で、出張先による、日当支給の整合を保つため、「日当」を廃止する等の内容で上程し可決承認された。		
* 議第7号 本部拠点区分において、収入の部で50周年記念事業に係る式典並びに祝賀会の祝い金等が増額となったこと、また、支出の部で経営計画策定業務を令和2年度に繰り越すこと等で減額となったこと、藤波園拠点区分において、収入の部で各事業の利用者の減少によって、事業収入に増減が生じたこと、また、人件費等を減額すること、陽だまり拠点区分において、保険金が支払われたこと、藤美寮拠点区分において、人件費や公用車リースの満了による賃借料支出の減額、および高齢障がい者デイサービスセンターを、令和2年度に繰り越すこと、藤の樹工房において、利用者工賃確保のため、工賃変動積立金を取り崩すこと、利用者の減少により、利用者負担金収入が減額となること、募集職員が雇用に至らなかったことによる人件費の減額当の内容で補正予算を上程し承認された。		

令和 2.3.24	理事会 (藤美寮会議室)	○議案
		議第8号 社会福祉法人たかしま会定款施行細則の一部を改正する細則(案)について
		議第9号 令和元年度社会福祉法人たかしま会収支補正予算第6号(案)について
		議第10号 令和2年度社会福祉法人たかしま会事業計画(案)及び令和2年度社会福祉法人たかしま会収支予算(案)について
		議第11号 社会福祉法人たかしま会評議員選任解任委員の選任について
		議第12号 社会福祉法人たかしま会施設長(藤波園長)の退任について
		議第13号 社会福祉法人たかしま会施設長(藤波園長)の選任について
		□報告事項 1 人事異動(内示)報告について 2 パワーハラスメントについて 3 新型コロナウイルス対策について
*議第8号	陽だまりに、副主任介護従事者の職を設け、組織の充実を図るため、定款施行細則の一部を改正する細則(案)を上程し原案のとおり可決承認された。	
*議第9号	藤波園拠点区分において、人件費の増額をおこなうこと、藤美寮拠点区分において、募集職員が雇用に至らなかったことによる人件費の減額、公用車修繕料等減額の内容で補正予算を上程し承認された。	
*議第10号	令和2年度の当法人にかかる事業計画(案)及び収支予算(案)を拠点区分ごとに上程し、可決承認された。	
*議第11号	評議員選任解任委員が令和2年6月開催の定時評議員会の終結の時をもって任期が満了することから、下記の者の選任同意を上程し、可決承認された。 内村泰雄、古谷傳平、谷口エツ子、中島良泰、古我幸二	
*議第12号	現、藤波園長青谷寿恵廣が、一身上の都合で退任することから、施設長(藤波園長)の退任について上程し可決承認された。	
*議第13号	現、藤波園長青谷寿恵廣が、一身上の都合で退任することから、河原田 勉を藤波園長として選任することについて上程し可決承認された。	

1. 理事会・評議員会等開催状況(平成31年4月～令和2年3月末まで)

理事会	9回
理事協議会	3回
評議員会(定時)	1回

2. 役員研修会の開催状況 2回

令和元年8月2日	法人施設見学会 「働き方改革の動向について」～同一労働同一賃金～ 講師:西多正夫社会保険労務士
令和2年1月24日	「経営計画について」 講師:株式会社TASK経営代表取締役社長 大石 孝太郎

3. 職員研修会の開催状況(役員任意参加) 3回

令和元年7月25日	「これからの社会福祉法人 福祉の仕事の魅力とは」 講師:中川英男(滋賀県社会福祉士会前会長) 参加者65名
令和元年12月13日	「コーチングによるコミュニケーションスキルの習得について」 講師:来栖佳子(株式会社宙 代表取締役) 参加者63名
令和2年2月13日	「障害者虐待防止から よりよい支援へ」 講師:中西昌哉 (社会福祉法人世光会理事 統括管理者) 参加者65名

4. 第三者委員会の開催状況 3回

令和元年7月1日	第三者委員研修会
令和元年10月10日	提出案件2件(その他6件)
令和2年2月14日	提出案件1件(その他1件)

5. 施設調整会議の開催状況 12回

平成31年4月10日
令和元年5月16日
令和元年7月11日
令和元年7月29日(法人経営会議)
令和元年8月9日
令和元年9月6日
令和元年10月17日
令和元年11月14日
令和元年12月9日
令和2年1月9日
令和2年2月10日
令和2年3月6日

6. 法人設立50周年記念事業実行委員会開催状況 4回

令和元年8月19日	・部会報告
令和元年9月10日	・経過報告、記念式典並びに祝賀会について (プロモーションビデオ試写)
令和元年9月29日	・記念式典並びに祝賀会 (式典参加者92人 祝賀会参加者88人)
令和2年2月26日	・設立50周年記念事業報告及び収支決算について ・設立50周年記念プロモーションビデオについて (50年のあゆみ試写)

令和元年度事業報告書

養護老人ホーム 藤波園
 特定施設入居者生活介護事業所
 訪問介護事業所

1. 藤波園

(1) 利用者の状況

利用者の定員は60人であり、前年度は平均すると毎月57人の利用者でしたが、本年度は59人と入所率は順調に推移しました。

新規利用者6人のうち4人が大津市から、1人が湖南市の措置であり、高島市からは1人でした。全利用者のうち高島市措置者が48%、大津市措置者が42%、以外が10%となっており、市外の措置が増えてきています。

① 入退所の理由

退所理由		入所理由	
死亡	4人	環境理由	3人
措置廃止 (長期入院)	1人	虐待	3人
計	5人	計	6人

② 利用者の在籍状況 (60人定員)

(各月末日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
男性	13人	13人	13人	13人	13人	14人
女性	45人	45人	46人	46人	46人	45人
合計	58人	58人	59人	59人	59人	59人
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	14人	14人	14人	14人	15人	15人
女性	46人	46人	45人	45人	44人	45人
合計	60人	60人	59人	59人	59人	60人

令和元年度 平均 男性 13.8人 女性 45.3人 合計 59.1人

※ 平成30年度 平均 男性 13.1人 女性 43.8人 合計 56.9人

令和2年3月31日

市町名	高島市	大津市	東近江市	長浜市	日野町	草津市	湖南市	合計
人数	29人	25人	1人	2人	1人	1人	1人	60人

(2) 事業運営（利用者支援状況）

① 終末期の看取り

終末期を藤波園で過ごし、最期まで看取った方は2人でした。亡くなる数日前まで藤波園で介護した方は1人でした。それぞれの利用者の思いを大切に介護しました。

② 地域交流

マキノ町の2つのこども園と安曇川町のはこぶね保育園の園児の慰問を受け、楽しいひと時を過ごしました。また、6月のふじみ寮祭りでは沢山の来場者の前で利用者と職員が一体となって踊りを披露することができました。

③ 余暇支援

茶道や書道、そして生花クラブでは、地域から講師を招き毎月実施してきました。書道や生花クラブでの作品をマキノ町の文化祭等に出展することで、創作意欲の向上を目指しました。また、カラオケクラブは利用者の自主運営で楽しみました。

最近では数名の利用者が近くの図書館、コンビニ、ホームセンターや湖西線を使って今津町、安曇川町へも買い物に行くようになりました。また、利用者有志により温泉入浴や外食にも出掛けました。今後も余暇の時間を有効に使えるよう支援を続けていきます。

④ 実習生の受け入れ

京都女子大学の教職過程の実習生を1名受け入れました。実習生を通して改めて日頃の支援について見直すことが出来ました。

⑤ 健康管理

インフルエンザが年明けから発生し、13人が罹患しましたが、重篤な症状は現れず、入院もなく約半月で終息にいたりしました。

また、新型コロナウイルスの全国的な流行により、2月下旬より面会をはじめ外部からの出入りを制限し、感染防止に努めました。

利用者の健康診断については、前年度同様、検診車を利用したことにより全ての検査を半日で終わることができ、利用者や職員の負担を大きく軽減しました。

また、利用者の健康増進および体力維持のため、今津病院より理学療養士を招き、毎月リハビリ教室を実施しました。

次に入院者は、前年度より1人多い20人でした。延べ入院日数は、前年度より131日少ない1,018日となり、100日以上入院した利用者は3人でした。

※ 入院状況

氏名	期 間			日数	期 間			日数	期 間			日数
利用者 1	4/ 1	～	12/18	262								262
利用者 2	4/ 1	～	4/18	18								18
利用者 3	4/ 1	～	4/23	23								23
利用者 4	4/22	～	5/ 9	18								18
利用者 5	5/13	～	8/16	96	12/18	～	3/18	92				188
利用者 6	7/15	～	8/20	37	12/11	～	1/10	31				68
利用者 7	7/25	～	7/30	6								6
利用者 8	7/26	～	9/ 4	41								41
利用者 9	8/ 7	～	10/16	71								71
利用者 10	8/ 8	～	8/29	22								22
利用者 11	8/ 9	～	9/11	34	10/15	～	12/19	66				100
利用者 12	8/31	～	9/13	14	3/23	～	3/31	9				23
利用者 13	10/ 8	～	10/25	18								18
利用者 14	11/ 8	～	11/20	13								13
利用者 15	11/ 9	～	12/19	40								40
利用者 16	12 /4	～	12/25	22								22
利用者 17	12/10	～	12/15	6								6
利用者 18	1/17	～	2/23	38								38
利用者 19	1/28	～	2/10	14								14
利用者 20	3/ 5	～	3/31	27								27
計												1,018

(3) 職員の状況

年度当初介護職員は1人の欠員でした。10月に正規介護職員を1人採用しましたが、2ヶ月で退職しました。また、12月末で嘱託職員が1名退職し、現在2名の欠員となっていますので、引き続き募集をしています。

① 研修

本会主催の研修の他、事業所内研修として、内部講師による「感染症対策研修」および「虐待防止研修」を行いました。また、外部研修として職員それぞれの経験年数に応じた各種認知症研修、生活指導員や看護職員など職種別の研修にも計画的に参加しました。

② 苦情の対応

苦情の申し出はありませんでした。

(4) 経営状況

入所率が前年度と比べ良かったことから、措置事業収入は129,706,184円で、前年度より5,258,438円の増収となり、雑収入の657,478円は、台風や落雷のため器物破損した保険金収入です。

事業活動収入計は、前年度比4,570,515円増収の130,831,428円でした。

なお、当期末支払資金残高が措置事業収入の3割を超える見込みであったため、10,000,000円を施設整備等積立資産支出として積立しています。このことから、当期資金収支差額は、1,648,292円の赤字となりました。

2. 特定施設入居者生活介護事業所

契約者数は、前年度25.2人で平均介護度は2.9であったが、本年度は22.3人で平均介護度は3.2でした。

このことにより、介護保険事業収入は前年度比5,732,995円減収の58,502,560円でした。当期資金収支差額は、1,111,082円の赤字となり前期末支払資金残高を充当し当期末支払資金残高は、19,536,877円となりました。

要介護度の状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
4月	3人	5人	7人	3人	5人	23人
5月	3人	5人	7人	3人	5人	23人
6月	3人	5人	7人	3人	5人	23人
7月	3人	6人	6人	3人	5人	23人
8月	3人	6人	6人	3人	5人	23人
9月	3人	5人	5人	3人	6人	22人
10月	3人	5人	6人	2人	7人	23人
11月	3人	5人	5人	1人	7人	21人
12月	3人	4人	7人	1人	7人	22人
1月	2人	5人	6人	0人	9人	22人
2月	2人	4人	7人	0人	8人	21人
3月	2人	4人	7人	0人	8人	21人

3. 訪問介護事業所

藤波園の特定施設入居者生活介護事業所の利用者に訪問介護をしてきました。終末期を藤波園で過ごし最期まで看取った方は2人でしたが、亡くなる数日前まで藤波園で介護した方は1人でした。それぞれの利用者の思いを大切に介護しました。

収入は、特定施設入居者生活介護事業所からの委託費31,000,000円でした。当期資金収支差額は、2,426,107円の赤字となり前期末支払資金残高を充当し当期末支払資金残高は、2,730,258円となりました。

令和元年度事業報告書

生活管理指導短期宿泊事業 藤波園

虐待からの避難や、生活の場がないとの住宅環境上の理由により、9人の方の措置を受けました。こちらにつきましても、大津市の割合が高くなっております。

利用者は前年度より2人増えておりますが、短期間の利用が多かったことから、事業収入は980,880円となり前年度と比較して、940,283円の減収となりました。

1. 利用理由

	高島市	大津市
住宅環境上の理由	2人	2人
虐待から避難	1人	4人
計	3人	6人

2. 利用状況

氏名	性別	市町	利用期間	理由	備考
利用者1	男性	高島	4月1日～4月19日	環境理由	入院
利用者2	男性	高島	4月1日～4月18日	環境理由	入院
利用者3	女性	大津	4月11日～5月20日	虐待	娘宅へ
利用者4	女性	高島	5月9日～5月15日	虐待	自宅へ
利用者5	女性	大津	6月10日～6月22日	虐待	娘宅へ
利用者6	男性	大津	6月24日～7月24日	環境理由	ケアハウス入所後 藤波園2月入所
利用者7	女性	大津	11月21日～12月13日	虐待	自宅へ
利用者8	女性	大津	2月13日～2月29日	環境理由	藤波園入所
利用者9	女性	大津	3月16日～3月30日	虐待	大津市養護

令和元年度事業報告書

小規模多機能型居宅介護事業所 陽だまり

1 利用状況

本年度の利用者数は、4人の終了、4人の新規利用があり、月平均20.75人でおおむね目標人数の20人を確保することができました。

また、利用者・家族の状況に応じて柔軟な対応を行い、また、訪問サービスも多く実施し、サービスの向上に努めました。

(1) 月別利用者の推移（登録定員29人） (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
男 (前年)	3 (4)	3 (3)	4 (3)	4 (4)	3 (4)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	4 (3)	5 (2)	5 (2)	4 (3)
女 (前年)	17 (14)	17 (14)	17 (15)	17 (17)	18 (18)	18 (18)	17 (18)	17 (18)	17 (18)	17 (17)	17 (18)	16 (17)
計 (前年)	20 (18)	20 (17)	21 (18)	21 (21)	21 (22)	21 (21)	20 (21)	20 (21)	21 (21)	22 (19)	22 (20)	20 (20)

※ 期末現在 平均年齢 86.4 歳(男 84.3 歳 女 86.7 歳) 最高齢者 97 歳

※ 期中 新規利用者 4人 契約終了者 4人(入院等 3人、死亡1人)

(2) 利用者の要介護区分内訳 (令和2年3月末現在) (人)

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
本年度末	1	8	5	2	3	1	20
前年度末	1	7	4	4	3	1	20

(3) 地域別利用状況 (令和2年3月末現在) (人)

地域	今津町	マキノ町	新旭町	合計
人数	17	1	2	20

(4) 月別利用状況推移(延人数) (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
デイ (前年)	290 259	296 248	309 239	276 245	311 296	305 296	304 303	297 310	323 318	311 263	286 253	275 290	3,583 3,320
宿泊 (前年)	44 52	37 54	43 47	39 39	40 47	41 52	37 48	39 52	40 56	41 43	31 37	29 36	461 563
訪問 (前年)	291 258	281 262	276 296	272 328	261 348	263 335	290 307	296 335	332 349	323 280	313 223	313 293	3,511 3,614

※ 1日平均利用者 デイ 9.8人 宿泊 1.3人 訪問 9.6人

2 経営状況

本年度の利用者数は昨年度とほぼ同じで、事業活動収入は 53,722,679 円ですが、利用者の要介護度が下がったことから、前年度比較で 630,094 円減少しました。

また、事業活動支出は前年度比較97パーセントの 49,237,417 円で、当期資金収支差額は 3,441,769 円の黒字となりました。

3 防災対策

本年度も高島市消防署員の指導の元、消防訓練や市ヶ崎区民参加の夜間避難訓練を実施して防災意識の向上に取り組みました。また、救急救命講習を受講し、AED 等の使用方法を再確認しました。

4 地域貢献事業

・運営推進会議の実施

運営基準に則り、2 ヶ月に一度、高島市地域包括支援センター職員、市ヶ崎区長、南新保民生委員、利用者・家族代表を招いて、奇数月に運営推進会議を実施しました。また、同会議にて自己評価への意見聴衆を行い、外部評価としました。

・美化活動

毎月 1 回、地域の清掃活動を実施しました。また、市ヶ崎区の要請を受け、区の清掃活動にも参加しました。

・ボランティア・地域交流

施設内では民謡ボランティア、ボーイスカウト、今津中体験ボランティア等の活動を受け入れました。外部では市ヶ崎地区の地藏盆、北浜サロンへ参加しました。

5 職員研修

本年度は、人権研修や高齢者虐待防止研修などの外部研修にも積極的に参加し、職員の資質向上に努めました。

6 その他

本年度、利用者および家族からの苦情の申し出はありませんでした。

令和元年度事業報告書

障害者支援施設 藤美寮

1. 生活介護事業、施設入所支援事業

(1) 利用者の状況

生活介護事業については、施設入所者 46 人と在宅通所者 8 人の受入をしました。施設入所事業は、4 月、9 月に加齢に伴い介護と医療ケアが必要になった者 2 人、地域移行をした者 1 人の計 3 人の退所がありました。その補充は、虐待ケースで短期入所をしていた者 1 人、高齢の両親と在宅生活をしていた者 2 人、身体機能の低下による者 1 人を受入、定員 46 名を充足しています。

利用者の内、60 歳以上の者が全体の 37% 占め高齢化が進む一方、強度行動障害等を持つ若年齢者もあり、障害の二極化が見られ、器物破損や他害等の転倒事故も発生しています。

今年度は、重度高齢化に伴い利用者の入院も 9 人と多く、入院延べ日数 217 日となりました。その原因については、異食による腸閉塞、転倒による骨折、慢性硬膜下血腫、肺炎、悪性腫瘍、持病の悪化によるもので治療を受けました。現在は、9 人とも回復し状態も安定しています。

① 利用契約者状況

(令和2年3月31日現在)

定員	前年度末人員	契約解除者	新規契約者	本年度末人員	摘要
46 人	45 人	3 人	4 人	46 人	男性 26 人 女性 20 人

- 平均年齢 49.26 歳 (男 47.48 歳 女 51.05 歳)
- 最高齢 72 歳 5 ヶ月 最年少 22 歳 1 ヶ月
- 平均在籍年数 20.05 年 (男 21.50 年 女 18.60 年)

② 出身市町別状況

(令和2年3月31日現在)

市町名	高島	大津	東 近江	近江 八幡	草津	甲賀	長浜	彦根	野洲	愛荘	県外	計
人数	27	5	4	2	1	1	1	2	1	1	1	46

③ 障害支援区分

(令和2年3月31日現在)

障害支援区分	1	2	3	4	5	6	計	平均
人数	0	0	0	5	12	29	46	5.52

注:前年度の平均は 5.67

④ 利用実績表

〈施設入所支援〉

(平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

平成 31 年	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
延べ利用者数	1,336	1,418	1,364	1,420	1,344	1,330	1,341	1,361	1,383
平均利用者数	45.5	45.8	45.5	45.7	43.7	45.2	44.5	45.9	44.8
令和 2 年	1 月	2 月	3 月	合計		前年度実績			
延べ利用者数	1,379	1,318	1,371	16,365 人		16,428 人			
平均利用者数	44.5	45.2	43.3	44.9 人/日		45.1 人/日			

〈生活介護〉

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

平成31年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
開所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23
延べ利用者数	1,087	1,171	1,118	1,202	1,152	1,096	1,129	1,151	1,195
平均利用者数	49.5	51.0	50.9	52.3	50.1	49.9	49.1	52.4	52.0
令和2年	1月	2月	3月	合計		前年度実績			
開所日数	23	21	23	270日		269日			
延べ利用者数	1,201	1,095	1,166	13,763人		13,854人			
平均利用者数	52.3	52.2	50.7	51.0人/日		51.6人/日			

(2) 経営状況

障害福祉サービス等事業収入は、強度行動障害者支援加算等を取得し経営の安定に努めてきましたが、利用者の入院による報酬の減額で、前年度比 6,189,988 円(生活介護事業 4,544,623 円、施設入所事業 1,645,365 円)の減収となりました。

支出では、事業費支出で、10月に利用者の一泊旅行を行い2コースに分けて北陸山代温泉に行き思い出作りをし、その経費を教養娯楽費支出から 1,324,649 円を支出しました。その他の科目では大きな支出が無かったことから、全体的には前年度並みとなりました。事務費支出では、利用者による器物破損があり、修繕費支出で、3,427,097 円を支出しました。

固定資産取得支出は 1,810,360 円で、次亜塩素水を噴霧する器具、パソコン5台、芝刈り機、脱臭機を購入しました。その他は予算通り執行し、当期資金収支差額合計は、前年度比 14,249,154 円減額の 41,719,317 円となりました。

(3) 事業管理・運営

高齢障がい者デイサービスセンター新築事業に取組み、今年度、株式会社水原建築設計事務所に実施設計業務委託をしました。契約から履行期間が短い事から期間の延長をし、充実した設計内容になるよう現在作業中です。また、県に対して民間心身障害児者施設整備事業(国庫補助事業)に係る協議書を提出しましたが、選考漏れとなり次年度に再チャレンジとなりました。

社会貢献事業の一つと位置付ける「ふじみ寮祭り」を6月に開催し、来場者数は、1,330 人を超え盛会のうちに終えることができました。

昨年度の自然災害の経験を活かし、マニュアルの見直しと防災用品等の備蓄、1月から国内で猛威を振るい出した新型コロナウイルス感染防止に向けて、国、県、市から発信する情報を鑑み、緊急時に対応できるようマニュアルと備品等を整備し感染予防に努めてきました。今後も引き続き取組んでいきます。

① 利用者支援

今年度も利用者一人ひとりが安心・安全に暮らせるよう、人権やプライバシーを重視した支援に取組み、「事故防止委員会」で事例検討を行い、現場でのリスクの予知や回避に繋がるよう努めました。

また、日々の支援を通じて利用者へ寄り添い向かい合いながら、利用者の変化を敏感に感じ取れる受信能力を高め、利用者の良いところ探しをし、多くの笑顔を引き出せるように支援しました。

日中活動については、高齢の利用者は、午後からの日課を入浴時間とし、他の利用

者と時間差をつけることで、手厚い職員体制の中安全に入浴し、清潔保持に努めました。また、若年齢の利用者に対しては、体を動かすストレスが発散でき、働く喜びを感じられるように生産活動に取り組めました。

健康管理においては、年2回の健康診断を引き続き、滋賀保健研究センターによる移動検診車で実施しました。施設内で行うことで時間的な余裕に繋がり、医療に対して理解が難しい利用者も無理なく受診することができ、疾病の早期発見の一助となりました。また、月1回の嘱託医の往診による診察で、利用者の健康状態を管理し、疾病の早期発見と予防に努めました。

② 防災・防犯等対策

ア、火災を想定した避難訓練については、計画通り3回(夜間も含む)藤波園と合同で行いました。

イ、11月に地元のマキノ駅西自治会と災害時の協力体制の見直しと避難誘導の確認、車いすの介助について学ぶ機会を作りました。

ウ、6月に救命講習を全職員受講し、不測の事態に対応するスキルの習得に努めました。

③ 研修

ア、事業所内研修として、人権に関する研修を毎月1回実施しました。また、虐待防止の取組みの一つである「虐待の芽セルフチェックリスト」の内容を一新すると共に、滋賀県発達障害者支援センターにコンサルテーションを依頼し、小グループで具体的な利用者支援に取り組むことで、職員一人ひとりの支援スキルの向上に努めました。また、毎朝の朝礼時には、たかしま会の理念、倫理綱領、行動指針の唱和を行い、人権意識の向上を図りました。

その他、無断外出捜査訓練、排泄介助研修、交通安全講習、腰痛予防研修等に取り組めました。

イ、事業所外研修については、県社協等が主催する専門知識や技能の習得や虐待防止等人権に関する研修を中心に派遣しました。また、強度行動障害支援者養成研修は、未取得者全員が受講し、専門的な支援技術を習得し、報酬の加算を得ることで経営の安定を図りました。

④ 施設整備等

次亜塩素水を噴霧する器具を設置し、空気中のウイルスを除去することで感染予防対策と清潔な環境を提供してきました。その結果、冬季にはインフルエンザ等の感染症の蔓延もなく、一定の効果は出ています。また、生成した液は、新型コロナウイルス感染予防策の一つとして、消毒液の代わりとしても活用しています。

その他、トイレに設置する脱臭機と芝刈り機を新たに購入し、生活環境の整備に努めました。

⑤ 苦情対応

サービスの質・量に関する苦情で、「息子がよく使う洋式トイレに先に使った人の便が流さないまま放置されている」との内容の申し出がありました。早急に掃除の仕方を考え、定時に汚れを確認し、清潔を第一に考えて支援をしました。

2. 短期入所事業

契約者のうち実利用者は29人で、家族の高齢化や疾病、虐待および支援力の低下等の家庭に事情のある利用者を4人、定期的な利用者6人、随時の利用者19人を受入れました。長期(連続)利用日数に上限設定があるものの、今年度は、介護者による虐待ケースや保護者の介護保険事業所の入所等の理由により長期利用となり、また、冬場のインフルエンザによる感染の蔓延もなく、延べ利用者数は1,700人と昨年を1.13%上回りました。その

事により、障害福祉サービス等事業収入は、13,910,976 円で前年度比 1,793,602 円の増額となり、当期資金収支差額合計は、5,534,313 円となりました。

① 利用者の状況 (令和2年3月31日現在)

今年度末契約者数		前年度末実利用者数		今年度末実利用者数	
62人	男性29人 女性33人	32人	男性13人 女性19人	29人	男性15人 女性14人

② 利用実績表 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

平成31年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
延べ利用者数	130	115	136	146	132	156	137	175	126
平均利用者数	4.4	3.8	4.6	4.8	4.3	5.2	4.5	5.9	4.1
令和2年	1月	2月	3月	合計	前年度実績				
延べ利用者数	133	148	166	1,700人	1,498人				
平均利用者数	4.3	5.2	5.4	4.7人/日	4.1人/日				

3. 日中一時支援事業

日中一時支援事業は、高島市が実施する地域生活支援事業で、日中における活動の場を確保し、障害者等の家族の就労支援及び日常介護している家族の一時的な負担軽減を図るため、宿泊を伴わない在宅障害者への支援事業です。

今年度は、契約者の内、実利用者数は17人で、年間の延べ利用者数は、1,489人となり、一日平均4.1人した。これは、昨年と比較すると生活介護事業所やB型事業所の通所後の定期的な利用が増えたことによるものです。このことにより、受託事業収入は、4,711,430 円で前年度比 310,886 円増収となり、当期資金収支差額合計は、1,457,403 円となりました。

① 利用者の状況 (令和2年3月31日現在)

前年度末契約者数	契約解除者	新規契約者	本年度末契約者数	摘要
66人	2人	1人	65人	男性33人 女性32人

② 利用実績表 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

平成31年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
延べ利用者数	123	121	132	145	129	129	124	127	108
平均利用者数	4.1	4.0	4.4	4.7	4.2	4.3	4.0	4.3	3.5
令和2年	1月	2月	3月	合計	前年度実績				
延べ利用者数	110	114	127	1,489人	1,333人				
平均利用者数	3.6	4.0	4.1	4.1人/日	3.7人/日				

令和元年度事業報告書

共同生活援助 たっちの家、羽ばたき
あっとホーム、箱館ハウス
高木浜ホーム

1. 利用者の状況

藤美寮からグループホームに移行した人を中心に高齢化が進み、日常生活上で身体介護を要する方が増えています。特に土日の日中支援には、世話人を複数配置するなど対応し、安全に生活できるように配慮しました。

利用者の健康状況は、骨折による入院が1人で40日、高齢による内科的疾患が2人で46日、腸閉塞による入院が1人で2日、良性腫瘍で1人が5日治療を受けました。

また、骨折後の回復が悪く、グループホームでの生活が難しくなり本人の希望もあり、藤美寮の入所となりました。その空室には、藤美寮から1人が地域移行し、入居しました。

(1) 利用契約者状況

(令和2年3月31日現在)

定員	前年度末契約者数	契約解除者数	新規契約数	本年度末契約者数	摘要
23人	23	1	1	23	男性11人 女性12人

(2) 年齢分布表

(令和2年3月31日現在)

年齢	29以下	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	計
男性	1	3	1	2	3	1	23
女性	2	1	1	1	4	3	

■平均年齢 54.0歳 (男 49.8歳 女 58.3歳)

■最高齢 84歳 最年少 23歳

(3) 障害支援区分

(令和2年3月31日現在)

障害支援区分	1	2	3	4	5	6	計	平均
人数	0	0	1	4	12	6	23	5.0

注:前年度の平均は4.87

(4) 出身市町別状況

(令和2年3月31日現在)

市町	高島	湖南	近江八幡	愛荘	彦根	長浜	県外	計
人数	15	1	1	1	1	2	2	23

2. 経営状況

今年度は、3ホームで入院による空室が延べ 93 日ありました。また、利用者の平均障害支援区分は、前年度 4.87 であつたものが、今年度は 5.00 と全体的に上がりました。更に、骨折による身体機能の低下から退居者が出たものの、直ぐに補充が出来た事により、訓練等給付費収入は予算額を確保でき、5 ホームとも順調に運営できました。

人件費支出については、利用者の重度高齢化に伴い、世話人の配置基準から、特に土日の日中支援に複数の世話人を配置したことにより、たっちの家で、632,230 円、羽ばたきで 360,818 円、あっとホームで 253,821 円、高木浜ホームで 1,097,238 円増額となりました。

修繕費支出については、あっとホームで落雷被害により消防通報装置が破損しましたが、早急に修理を行い、費用は、ホームで加入している火災保険で対応しました。

その他、大きな支出経費もなく、各事業所とも黒字で決算を締めくくりました。

3. 事業管理・運営状況

(1) 利用者主体の生活支援

利用者の意思や人格を尊重し休日の日中活動を充実させ、生活基盤の安定が図れるように日中の通所先との連携を密にしながら支援をしました。

(2) 健康管理

年 1 回、健康診断を受診し、疾病の早期発見と予防に努め、医療が必要な場合には、バックアップ施設と連携しながら適切な対応がとれる体制を継続し、特に食事と運動の両面から健康管理を行いました。

(3) リスク管理

年 2 回、昼間と夜間の火災を想定した避難誘導訓練を実施し、併せて防災体制を整備し、バックアップ施設である藤美寮と連携がとれるようにサービス管理責任者を中心とした体制を整えました。

(4) 人事管理

従事者が外部研修と法人研修、藤美寮独自の研修会(人権研修・強度行動障害研修)を受講し、専門知識の習得や人権意識の向上に努めました。また、定期的に世話人会議やケース会議を開催し、支援の統一に努めました。

令和元年度事業報告書

高島市安曇川障害者デイサービスセンター

1. 地域活動支援センター事業

(1) 利用者の状況

今年度は、新規契約者が1人ありましたが、死亡と施設入所の理由により解約者が2人あり、年度末契約者数は53人となりました。

① 利用契約者状況

(令和2年3月31日現在)

定員	前年度末登録者数	契約解除者数	新規登録者数	本年度末登録者数	摘要
15人/日	54人	2人	1人	53人	男性14人 女性39人

* 平均年齢 63歳 (男 66.9歳 女 59.1歳)

* 最高齢 96歳 最年少 24歳

② 障害種別

(令和2年3月31日現在)

障害名	知的障害	聴覚障害	視覚障害	精神障害
人数	4(5)人	3(3)人	15(15)人	20(19)人
障害名	重度心身障害	肢体不自由	計	
人数	3(3)人	8(9)人	53(54)人	

* ()内の数字は前年度

③ 利用実績表

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

平成31年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
開所日数	21	19	21	22	19	19	21	20	21
延べ利用者数	307	259	293	286	257	244	278	278	279
平均利用者数	14.6	13.6	13.9	13.0	13.5	12.8	13.2	13.9	13.2
令和2年	1月	2月	3月	合計		前年度実績			
開所日数	19	18	21	241日		244日			
延べ利用者数	252	240	242	3,215人		3,650人			
平均利用者数	13.2	13.3	11.5	13.3人/日		14.9人/日			

(2) 経営状況

利用契約者数は、53人ですが、その内実利用者数は、毎月30人弱で利用時間数も4時間未満の利用が多く、障害福祉サービス等事業収入は、25,468,482円で、前年度比1,682,748円の減収となりました。

支出では、職員の異動により人件費支出で前年度比3,528,262円減額し、事業費・事

務費支出ともに多額の支出はなく、当期資金収支差額合計は、2,795,285 円の黒字となりました。

(3) 事業管理・運営状況

今年度は、自然災害などによる閉所はなく営業日数は、241 日でした。また、利用者の高齢化に伴い体調の変化や障害特性により一日の利用が難しいなどの理由により、延べ利用者数は、前年度比 13.6%の減少となりました。

① 日中活動

アンケート調査の結果を踏まえ、できるだけ利用者のニーズに添った形で活動メニューを組立て、在宅生活を継続していけるよう支援に取り組みました。具体的には、講師を迎えて、生け花、陶芸、音楽、書道、手話、法話、手芸、ヨガ教室、ピラティスの各教室を開講しました。また、地域のボランティアグループの協力で、点訳、パソコン、本の朗読、ヘア&メイクの活動も行いました。また、スポーツ、レクリエーションとしては、ペットボトルボウリングやグラウンドゴルフなどの活動に取り組みました。これらの活動は月1～2回(半日)ですが、利用者は自分の参加したいメニューを選択し、継続的に参加することができました。その他、月1回程度外出活動をして気分転換を図ったり、季節の行事を行うなど活動に変化をつけました。更に今年度からは、生活力を高める目的で、調理実習を取入れました。献立も利用者が相談して決め、調理したものはその日の昼食で食べることで、楽しさと協調性も高まっているようでした。

② 地域に向けた取り組み

12月に今津町の「高島市働く女性の家」で生け花展、同月安曇川町「藤樹の里ふれあいセンター」で KOSEI 輝く芸術祭があり、展示と発表の部に参加しました。また、3月には、「安曇川公民館」で絵画や陶芸、書道などの作品展を開催しましたが、新型コロナウイルス感染の影響から来場者数は減少したものの、利用者の作品や活動などを地域に発信できました。中でも KOSEI 輝く芸術祭の発表の部では、歌と楽器演奏を披露し、最優秀賞を受賞し、活動に対する励みとなりました。

③ 施設整備について

入浴時やオムツ交換時に使用する昇降ベッドを購入し、介護者の腰痛予防対策に努めました。その他、軽微な修繕については、職員で対応することにより経費を削減しました。

④ 利用者の苦情や要望

事業所内に意見箱を設置し、また、月1回茶話会で職員と利用者との懇談の場を設け、年度末にはアンケートを実施して意見などを聴取しました。昨年度は、アンケートの回収率が低かったため、利用者に対して協力を呼びかけたり、職員の接遇に関する項目を追加するなど内容を変えて聴取しました。この結果は、次年度の活動に反映させていきます。

利用者からの苦情については、今年度はありませんでした。

2. 自主事業

自主事業である「ホリデー支援事業」は、年7回実施しましたが、参加者の減少が課題となっています。

(1) 実施事業

月日	参加者	内 容	場 所
H31.4.13.	2人	「海をわたる弦楽の調べ」鑑賞	ヴォーリズ今津郵便局
R1.5.12	1人	「スプリングコンサート2019」鑑賞	ガリバーホール
6.22	6人	「しますえよしおコンサート」鑑賞	ガリバーホール
8.10	4人	「昭和のうた ピアノ弾き語りコンサート」鑑賞	藤樹の里芸術文化会館
9.14	4人	「武生商業高校吹奏楽部演奏会」鑑賞	高島市民会館
10.12		「レクリエーションまつり」参加	台風接近のため中止
10.20	3人	「泉の会 第42回定期演奏会」参加	ガリバーホール
12.22	2人	「第17回 アイリスウインドオーケストラ定期演奏会」	ガリバーホール
3.7		アンフィニ点字サロン	新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止

(2) 収支決算

収 入

科目	予算額 (円)	決算額 (円)	内訳
参加費	27,000	11,000	500円×22人=11,000円
施設使用料	1,000	0	
雑収入	0	200	
合計	28,000	11,200	

支 出

科目	予算額 (円)	決算額 (円)	内訳
燃料費	13,500	7,000	1,000円×7回=7,000円
施設利用料	1,000	0	アンフィニ点字サロン中止のため
雑費	5,000	4,000	
本会会計への繰入	8,500	200	
合計	28,000	11,200	

令和元年度事業報告書

藤美相談支援事業所

1. 利用者の契約状況

今年度は、新規契約者が6人ありましたが、契約解除者は藤美寮から介護施設に移行した2人と一般就労した4人で、年度末の契約者数は、103人と前年度比の増減はありませんでした。

利用契約者状況

(令和2年3月31日現在)

前年度末契約者数	契約解除者数	新規契約者数	本年度末契約者数	摘要
103人	6人	6人	103人	男性 51人 女性 52人

2. 経営状況

当該事業は、報酬単価が低いことや相談支援専門員が取扱える件数に限りがあるため、経営上は厳しい状況です。

障害福祉サービス等事業収入は、モニタリング件数が増えたことや訪問等による加算を算定したことで、計画相談支援給付費収入は、3,813,028円で、前年度比924,034円の増収となりました。

支出では、職員異動に伴い人件費支出で、前年度比2.08%増額しましたが、その他事務費支出等は、昨年度と変わりはありませんでした。

その結果、収支差額の赤字分を繰入金5,258,000円補填し、当期資金収支差額合計は857,175円となりました。

利用実績表

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

平成31年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
計画数	13	5	1	7	8	4	7	7	3
モニタリング数	15	16	12	17	13	17	16	22	15
計	28	21	13	24	21	21	23	29	18
令和2年	1月	2月	3月	合計		前年度実績			
計画数	4	3	9	71件		76件			
モニタリング数	15	18	20	196件		139件			
計	19	21	29	267件		215件			

3. 事業実施状況

今年度も相談支援専門員専従1人と兼務1人(常勤換算0.1)の体制で事業運営を行いました。サービス等利用計画については、支給決定変更時(原則3年)に行い、モニタリングは施設及びグループホーム利用者は、原則年2回、藤の樹工房及びアンフィニ等の在宅からの通所者は、3か月に1回で実施しました。その結果、計画作成は71件、モニタリングは196件でした。

昨今は、計画作成やモニタリング以外の相談が多く、一般相談の件数が増加しています。対象となる利用者の中には、子供の虐待防止や養育の助言、就労先が定まらずその調整と実習の引率、新たな生活場所の体験等、相談員の出役時間は大幅に増加し、関係機関との連携と質の高いケアマネジメント力が求められてきました。そうした業務負担を加算で算定することで、経営の改善に取り組みました。

令和元年度事業報告書

就労継続支援B型事業所 藤の樹工房

1. 利用者の状況

一般就労へのステップアップのために訓練し就労を目指す精神障害者や、グループホームの入所者で日中活動の場として利用する知的障害者など、目的や障害特性は混在し、利用者も固定化、高齢化しています。

本年度は、新規契約者がなく、就業による解約者が2人、自己都合の解約者が2人あり、年度末の契約者数は26人と前年度から4名減少しました。

① 利用契約者状況 (令和2年3月31日現在)

定員	年度当初契約者数	契約解除者数	新規契約者数	年度末契約者数	摘要
27人	30人 (32人)	4人 (4人)	0人 (2人)	26人 (30人)	男性 15(18) 女性 11(12)

()書きは平成31年3月31日現在

② 利用実績表

項目	本年度実績	前年度実績
開所日数	240日	240日
延べ利用者数	5,688人	5,977人
平均利用者数	23.7人/日	24.9人/日

③ 利用者の障害支援区分 (令和2年3月31日現在)

障害支援区分	なし	1	2	3	4	5	6	計
人数	9人 (11人)	1人 (0人)	1人 (2人)	2人 (3人)	4人 (6人)	8人 (8人)	1人 (0人)	26人 (30人)

*障害種別 ・精神障害者 6人(8人) 知的障害者 20人(22人)

()書きは平成31年3月31日現在

2. 経営状況

収入は、訓練等給付費収入が、42,115,103円で、延べ利用者数が減少したことから、前年度比 1,827,195 円の減収となりましたが、支出が、人件費、事業費、事務費、固定資産取得支出ともに減額であったことから、当期資金収支差額は前年度比457,862円減額の 6,263,824 円となりました。

3. 職員体制

正規職員 3 人、臨時職員 5 人の 8 人体制でスタートしました。

昨年に比べ、2 名の減員となっていることから、年間を通じて募集を続けましたが、採用に至りませんでした。

職員会議、指導員会議、朝礼等を通じ、利用者の支援方法や、生産活動に係る作業調整を行い、職員間の連携強化に努めました。

4. 就労支援事業

(1) 生産活動

① 受注加工

市内 7 社から受注していますが、利用者数の減少はもとより、利用者の高齢化や職員の減少により、生産活動が低下し、売上高は前年度比 240,189 円の減額となりました。

② 自主製品

「よもぎ湯の素」は、原材料が少なく生産が年間を通じて行えず、売上額は前年度比 264,459 円の減額となりました。

「野菜の栽培」は、玉ネギ、カボチャ、大根を栽培し、農協や学校給食センター等に販売しました。前年度に比べ収穫量が増加し、売上額は前年度比 41,468 円の増額となりました。

「椎茸の栽培」は、販路拡大で売上額は前年度比 17,000 円の増額となりました。

「苔玉作業」は、生産を中止したことから、在庫の器のみの販売であり、売上額は前年度比 123,700 円の減額となりました。

以上のとおり、生産活動における売上額の合計は 1,146,074 円で、前年度比 329,691 円の大幅な減額となりました。

③ 受注作業

職員の減少により、コーティング作業やタイヤ交換作業を縮小し、地域農園の農作業の受注拡大に努めましたが、前年度比 28,788 円の減額となりました。

④ 内部売上

法人設立 50 周年記念事業に係る記念品として、法人本部からよもぎ湯の素を受注し、前年度比 24,000 円の増額となりました。

以上のように、受注加工売上、自主製品売上、受注作業売上、内部売上の合計(就労支援事業売上収入合計)は 3,529,887 円と、前年度比 574,668 円の減額となりました。

必要経費を節減したものの、工賃の支払総額は、3,010,284 円となり、1 人当りの工賃平均月額が 9,586 円と昨年度を大幅に減額となることから、工賃変動積立金 200,000 円を取り崩し、工賃の実質支払い総額 3,210,284、1 人当たりの平均工賃を 10,224 円としました。

⑤ 生産活動（加工、生産、売上げ）

〔受注加工〕

企業名	職種・内容	本年度実績	前年度実績
八田加工	溶鉱炉部品組立て他	287,380 円	377,840 円
トーア	家具部品梱包他	80,457 円	102,151 円
ダイヤモンドツール	釣り針袋詰め	525,985 円	515,626 円
奥野電器	電気部品組立て他	86,200 円	198,450 円
クローバー電機	印刷機部品組立て	15,672 円	25,848 円
大吉	箱折り	134,339 円	118,420 円
フジ製作所	梱包材製造	471,218 円	503,105 円
計		1,601,251 円	1,841,440 円

〔自主製品〕

作業名	販売場所・品目	本年度実績	前年度実績
よもぎ湯の素製造	マキノピックランド 道の駅マキノ追坂峠 マキノ高原温泉さらさ 道の駅朽木新本陣 道の駅藤樹の里あどがわ グリーンパーク思い出の森 長浜まちの駅イベント出店、 足湯店頭販売	677,685 円	942,144 円
野菜の生産	玉葱、カボチャ、大根等	411,739 円	370,271 円
椎茸の栽培	椎茸(生)	37,950 円	20,950 円
苔玉作業	苔玉、飾り盆栽、器	18,700 円	142,400 円
計		1,146,074 円	1,475,765 円

〔受注作業〕

事業所名	作業内容	本年度実績	前年度実績
みなくちファーム	野菜収穫・除草作業等	347,962 円	43,750 円
小川農園	梨枝拾い等	—	141,800 円
コーティング作業	車のメンテナンス	268,600 円	513,600 円
タイヤ交換作業	タイヤ交換、下部洗浄等	81,000 円	27,200 円
計		697,562 円	726,350 円

〔内部売上〕

事業所名	品目	本年度実績	前年度実績
法人本部	50周年記念よもぎ湯の素	42,000円	—
藤波園	椎茸、野菜 コーティング タイヤ交換	42,000円	61,000円
藤美寮	椎茸、野菜	1,000円	—
計		85,000円	61,000円

【生産活動合計】

受注加工+自主製品+受注作業+内部売上の合計	3,529,887円	4,104,555円
------------------------	------------	------------

⑥《利用者工賃支払総額》

〈工賃平均月額〉

本年度実績	前年度実績
3,210,284円	3,531,824円

本年度実績	前年度実績
10,224円	10,207円

(令和元年度:工賃変動積立金 200,000円取り崩し含む)

(2) 利用者支援

利用者との話し合いにより作成した、個別支援計画に基づき、訓練等の支援を実施しました。また、個別の相談や悩みを聞くことで生活面の支援も行いました。

なお、支援を充実させるため、障害特性の職員研修を2回外部講師を招き全職員参加のもと実施しました。